

**埼玉県オープンデータカタログシステム再構築等業務
評価項目一覧**

項番	項目	区分	提案事項	配点
1	基本事項	区分	内容	(140)
-	仕様書 P-01	必須	会社概要について 提案者の会社概要（所在地、設立日、資本金、社員数、主要取引先等）について、資料を提示すること。	10
-	仕様書 P-02	必須	類似業務の受注実績について 提案者の国や地方自治体における類似業務について、受注実績を示すこと。 ※受注実績がない場合は、その旨を提案書に記載すること。	20
-	仕様書 P-03	必須	スケジュールについて 提案者が想定する本業務の実施スケジュールを示すこと。	10
-	仕様書 P-04	必須	見積について 本業務における提案者の見積書を、提案書とは別に提出すること（様式任意、項目、単価等の積算内訳を明らかにすること。「別添資料1」とする）。	100
2	業務要件 (オープンデータカタログシステムの再構築)	区分	内容	(140)
-	仕様書 P-05	必須	システムの利用形態等について 提案者が想定するサービス（IaaS、PaaS、SaaS等）の利用形態を明らかにし、システム構成図等 を示すこと。 なお、自社保有のサービスを利用しない場合は、サービスを提供する事業者名及び責任分界点等 を詳細に示すこと。	30
-	仕様書 P-06	必須	機能等について 別紙「埼玉県オープンデータカタログシステム機能要件表」への対応状況を提示するとともに、 追加機能があれば提案すること。対応できない機能については、その理由を示し、代替案を示すこ と。 また、ウェブサイトのURLについて、現行システム同様とすることに支障がある場合には、代替案を示 すこと。	40
-	仕様書 P-07	必須	セキュリティ要件について 外部からの不正侵入への対策、DoS攻撃、DDoS攻撃への対策等を始め、本システムに導入するセ キュリティ確保の対策方法を示すこと。	20
-	仕様書 P-08	必須	データ可視化機能について データ可視化を行うツールの概要及び可視化のイメージを示すこと。 また、簡易にグラフ等の作成・更新・公開ができる工夫があれば示すこと。	30
-	仕様書 P-09	必須	データ移行について 現行システムからのデータ移行について、提案者が想定する手順を示すこと。 また、データ移行に当たって留意すべき点があれば示すこと。	20
3	業務要件 (オープンデータカタログシステムの運用・保守)	区分	内容	(60)
-	仕様書 P-10	必須	運用・保守業務全般について 提案者が想定する運用・保守業務（問合せ、監視、障害対応等含む）の体制、範囲、内容及び特 に注力すべきと考える点を示すこと。 また、追加可能な業務がある場合は提案すること。	20
-	仕様書 P-11	必須	運用・保守費用について 本業務の契約期間終了後、別途運用・保守契約を締結することを想定しているため、提案者が想 定する令和6年度以降における「オープンデータカタログシステムの運用・保守」の年額費用を参 考見積として提案書とは別に提出すること。 参考見積は、内訳（クラウド基盤利用料、ソフトウェア賃借料・保守費、ライセンス料、問合せ 対応費など）を明記すること。（様式任意、「別添資料2」とする）。	30
-	仕様書 P-12	必須	サービスレベル定義について システムの稼働率、障害復旧等のサービスレベルについて、提案者が対応可能と考える項目及び 目標値等を示すこと。	10
4	研修	区分	内容	(20)
-	仕様書 P-13	必須	研修全般について 提案者が想定する各研修の開催方式及び回数を示すこと。 その他、効果的と考える研修がある場合には追加で提案すること。	20
5	データ調査及び改善提案	区分	内容	(30)
-	仕様書 P-14	必須	効果的な手順等について 提案者が効果的と考えるデータ調査及び改善提案の手順、並びに業務を行うに当たって重要と考 える点を示すこと。	30
6	業務実施要件	区分	内容	(10)
-	仕様書 P-15	必須	プロジェクト実施体制について 提案者が想定している本業務における「プロジェクト実施体制表」を提示すること。また、本業 務に従事させることを想定している個々の要員の経歴や業務実績等を提示すること。（様式自由）	10
7	納品要件	区分	内容	-
合計点数				(400)